

長沢 蘆雪

かわいい。

春の江戸絵画まつり



迫力の虎も、キュートな子犬も、ぜんぶ愛おしい。

2026.3.14^{SAT} — 5.10^{SUN}

前期の見どころ 「子犬の絵の歴史と蘆雪」 3.14(土) — 4.12(日)

後期の見どころ 「無量寺の竜と虎を考える」 4.14(火) — 5.10(日)

作品の大幅な展示替えを行います。詳しくは当館ホームページをご覧ください。

東京で
初開催！

府中市美術館
Fuchu Art Museum



無量寺の
虎が
やって来る！

長沢蘆雪《虎図模》(部分)
無量寺・串本彦彦雪館 重要文化財
後期展示
表紙：長沢蘆雪《菊花子犬図》(部分)
個人蔵 前期・後期展示

関連イベント

● 展覧会講座「長沢蘆雪と春の江戸絵画まつり」金子信久(当館学芸員)

5月3日(日) 午後2時より(90分程度) 府中市生涯学習センター講堂(府中市美術館より徒歩5分) 予約不要 無料

● 子ども向けイベント「ろせつ探検隊！」

会期中随時 展覧会を見ながら「探検隊ワークシート」のクイズに挑戦。観覧料が必要ですが、府中市内の小中学生は「府中っ子学びのパスポート」で入場できます。年齢制限はありませんので、大人の方の参加もお待ちしております。

2度目は半額！ 観覧券をお求めいただくと、2度目は半額になる割引券が付いています(本展1回限り有効)。

休館日：月曜日(5月4日を除く) 開館時間：午前10時～午後5時(入場は4時30分まで)

観覧料：一般800円(640円)、高校生・大学生400円(320円)、小学生・中学生200円(160円)

※()内は20名以上の団体料金。*未就学児無料。*障害者手帳等(ミライID可)をお持ちの方と付き添いの方1名は無料。

*コレクション展もご覧いただけます。*府中市内の小中学生は「府中っ子学びのパスポート」で無料。

主催：府中市美術館 *本展の他会場への巡回はありません。 協力：青木屋

〈交通案内〉

*2026年4月1日から、ちゅうバスの路線が変わりますので、京王バスの停留所をご利用ください。変更後の路線はちゅうバスのホームページからご確認ください。

- 京王線府中駅から
 - ・ちゅうバス多磨町行き「府中市美術館」①下車すぐ(8時から毎時30分間隔で運行、運賃100円) *3月末日まで。
 - ・京王バス武蔵小金井駅南口行き(一本木経由、武71)「天神町二丁目」②下車すぐ
 - ・京王バス武蔵小金井駅南口行き(学園通り経由、武73)「天神町幼稚園」③下車徒歩8分
 - ・京王バス国分寺駅南口行き(東八道路経由、寺92)「天神町幼稚園」④下車徒歩8分
- 京王線東府中駅北口から
 - ・徒歩17分
 - ・ちゅうバス府中駅行き「府中市美術館」①下車すぐ(8時5分から毎時30分間隔で運行、運賃100円) *3月末日まで。
- JR中央線武蔵小金井駅南口から
 - ・京王バス府中駅行き(一本木経由、武71)「一本木」①下車すぐ
 - ・京王バス府中駅行き(学園通り経由、武73)「天神町幼稚園」②下車徒歩8分
- JR中央線国分寺駅南口から
 - ・京王バス府中駅行き(東八道路経由、寺92)「天神町幼稚園」③下車徒歩8分
- お車の場合は、美術館近くの府中市臨時駐車場(無料)をご利用ください。



府中市美術館
Fuchu Art Museum

東京都府中市浅間町1-3
ハローダイヤル 050(5541)8600
<https://www.city.fuchu.tokyo.jp/art/>

「奇想」か「かわいい」か

21世紀の 蘆雪を楽しむ、 東京初の 蘆雪展

府中市美術館では二〇〇一年秋に「司馬江漢の絵画 西洋との接触、葛藤と確信」を開催し、その後、二〇〇五年の「百花の絵」以降、毎年春に江戸絵画を中心とする展覧会を開催してきました。都立府中の森公園の桜や若葉とともに春の風物詩としてお楽しみいただけたら、との願いもあり、途中から「春の江戸絵画まつり」と呼ぶようになりました。このシリーズは今回で幕を下ろしますが、シリーズに欠かせなかった画家の一人が、江戸時代中期の画家、長沢蘆雪です。

美術の魅力や価値は時代によって変わります。例えば伊藤若冲は、明治時代から根強い人気があった画家ですが、サイケデリックアートも流行していた一九七〇年、辻惟雄氏の著書『奇想の系譜』によって、その鮮烈で奇異な表現が注目されました。また、

二〇〇〇年に京都国立博物館で開催された「没後200年若冲」展を機に、コンピュータを使ったグラフィックや映像が普及した時代らしく、細密さや色彩の凄みに多くの人が魅了されるようになりました。そうして今日の若冲の人氣が確立されたように思われます。

蘆雪も同様です。明治三六年（一九〇三）の藤岡作太郎の『近世絵画史』では、ときにアイディアと構力は応挙を上回ると評価され、大勢いる応挙の弟子の中で呉春とともに真っ先に挙げられながらも、「覇氣」が溢れ出してしまい応挙のような落ち着きや深みがない、と書かれています。ところが、辻氏の本ではその「覇氣」が逆に奇想として注目され、一躍、日本美術のスターの一人になったのです。

そして21世紀。たくさんのキャラクターや動物が人氣を集める時代にあつて、蘆雪のもう一つの魅力が脚光を浴びるようになりました。それが「かわいい」です。子犬や動物、子どもたちを描いた蘆雪の作品は、見ているだけで胸が苦しくなるほど、愛おしさに溢れています。きつと大昔から、人々は小さなものやかわいいものに心を寄せてきたことでしょう。蘆雪はそうした心を一枚の絵画の中に表現し、江戸時代きつての「かわいいもの描き」となったのです。蘆雪の根っこにある禅の思想や、命あるものを慈しむ仏教の教えも見逃せません。

かわいいものに加えて、風景や人物、ファンタスティックな世界など、蘆雪の絵画は多彩です。東京初となるこの蘆雪展では、春の江戸絵画まつりで注目してきた蘆雪のさまざまな創作を振り返りつつ、「21世紀の蘆雪」をお楽しみいただきたいと思います。

前期の見どころ

「子犬の絵の歴史と蘆雪」

私たちの心をぎゅつとつかんで放さない蘆雪の子犬。かわいくて、愉快で、ときに頼りないような描写はどんな歴史の上に生まれたのでしょうか？ 俵屋宗達や円山応挙らの作品とともに、蘆雪の子犬をお腹いっぱいになるまでご覧いただきます。

- (A) 長沢蘆雪「唐子遊園図（部分）」 個人蔵 前期・後期展示
- (B) 長沢蘆雪「狗児図（部分）」 本間美術館 前期展示
- (C) 長沢蘆雪「木蓮狗子図（部分）」 個人蔵 前期展示
- (D) 長沢蘆雪「寒山拾得図（部分）」 個人蔵 前期展示
- (E) 長沢蘆雪「童子に狗子図（部分）」 個人蔵 前期展示
- (F) 長沢蘆雪「南天狗子図（部分）」 個人蔵 前期展示

初登場



(A)



(B)



(C)

初登場



(E)



(F)

初登場



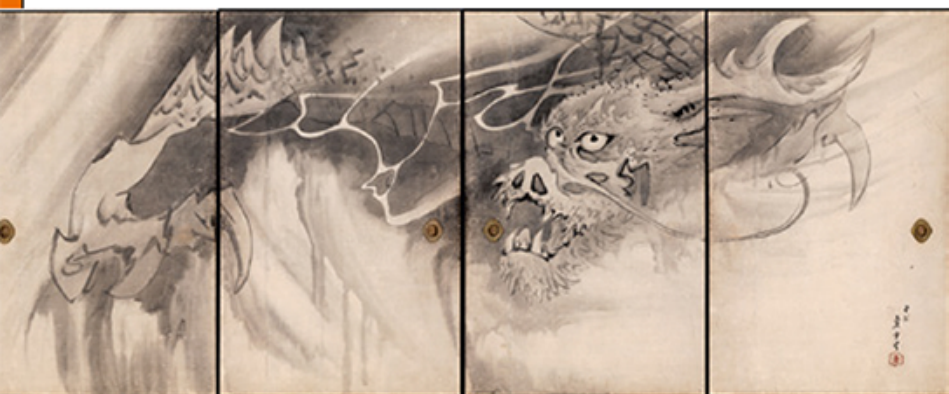
(H)

後期の見どころ

「無量寺の竜と虎を考える」

蘆雪の代表作として名高い串本・無量寺の竜と虎の襖絵。とにかく文句なしの傑作ですが、この傑作はまた、蘆雪が様々な作品で追究した「雲を呼び雨を降らせる竜」の一作であり、禅の世界から生まれた虎キャラの一作でもありました。無量寺の竜と虎をもっと深く、面白く楽しむための展示です。

- (G) 長沢蘆雪「竜虎図（部分）」 無量寺・串本応挙芦雪館 重要文化財 後期展示
- (H) 長沢蘆雪「四時図（部分）」 草堂寺 和歌山県指定文化財 後期展示
- (I) 長沢蘆雪「四時図（部分）」 本間美術館 後期展示



(G)



(I)

